

栃木放送平成 28 年度第 3 回 6 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 28 年 6 月 9 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 6 名
欠席委員 3 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	大 島 幸 雄
	委 員	河 又 弘 子
	委 員	荒 川 政 利
	委 員	平 野 博 章

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作局編成部	平 野 光 樹

4 議 題

(1) 「古田佳子 和楽囃子が聴こえる」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「古田佳子 和楽囃子が聴こえる」について

試聴番組：4 月 9 日に放送した番組を予め試聴

議題説明：編成部 平野が番組の概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

○聴きやすい声だった。高校生の唄はよかった。合いの手は気持ちよかった。

- 普段、民謡は聞かず、高齢者のイメージがあったが、学生が出ていて新鮮だった。ただ、弟子なので、やらせっぽい感じがした。聞き役のアナウンサーがいるといいのではないか。古田さんも栃木訛りがあっていい。こんなすごい人だとは知らなかった。応援していきたいと思う。
- 民謡を広めるという目的に沿った番組だと思う。若い子が出ているのは聞きやすかった。的を射た番組だと思う。
- 民謡に親しんでいる人向けの番組という印象を受けた。本人の自己紹介や曲、他の出演者などにもっと具体的な説明や解説があったほうが知らない人のためにはいい。
- じっくりと聞くと味わいがある。唄の背景などの解説があると民謡に見識のない人にも興味を持ってもらえるのではないか。
- 地域の文化を継承するには意味のある番組だ。もっと解説を加えてもらえるといい。
- 聴取対象をどこにおくかをはっきりさせて解説するといい。
- FM局にはできない泥臭い番組。栃木放送らしい番組なので継続してほしい。
- 民謡は何とか維持して育ててほしい。それをやるのが地元局の使命だと思う。
などの意見が出された。
当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 28 年度第 4 回 7 月期の審議会を 7 月 14 日（木）に開くことを決め、閉会した。